

## 平成 26 年第 3 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	1	佐藤仁一郎	<p>1 市民協働のまちづくりについて</p> <p>(1) まちづくり協議会の現状に対する見解を伺う</p> <p>(2) 「大崎市話し合う協働のまちづくり条例」の推進方法は</p> <p>(3) 専門的, 継続的な職員の配置を求める</p> <p>(4) 政策アドバイザーの安定的, 継続的配置を求める</p> <p>2 国, 県, 市の行政の垣根を越えた連携について</p> <p>(1) 鳴瀬川水系河川整備計画の変更概要について</p> <p>(2) 多田川堤防補強工事の進捗状況の確認</p> <p>(3) 長堀川の慢性的氾濫対策について</p> <p>(4) 国指定「大崎市三本木地区中核的広域防災拠点」である河川防災ステーションと, 「宮城県広域防災拠点」の案として位置づけられている三本木新世紀公園の構想に対する本市の対応を伺う</p> <p>(5) 県有地の有効活用に関する情報の確認</p> <p>(6) 国道 4 号の荒谷以北及び YKK 周辺の交通渋滞解消に向けた国への働きかけ</p>
2	16	富田文志	<p>1 大崎市民病院ビジョン策定について</p> <p>(1) ビジョン策定の取り組み状況</p> <p>ア 策定に向けた現状は</p> <p>イ 平成 22 年に設置されている病院事業経営会議はどの程度行われているのか</p> <p>ウ 策定メンバーは何名ほどか (医療関係者, 学識経験者など)</p> <p>(2) 第 2 次医療圏における市民病院の役割</p> <p>ア 栗原医療圏との連携と分担, 現状と課題は</p> <p>イ 周産期の機能集約, 現状と課題は</p> <p>(3) 分院と診療所の役割分担と連携</p> <p>ア 提供する初期医療 (2 次救急) と一般医療は地域の医療要望と合っているか</p> <p>イ 鳴子分院の温泉利用リハビリと田尻診療所の認知症はどうか</p> <p>(4) 病床数の将来見通し</p> <p>ア 第 6 次宮城県地域医療計画では, 第 5 次の 7 医療圏が 4 医療圏に統合され大崎・栗原地域医療圏になったが, 第 4 次, 第 5 次, 第 6 次とを比べ, 病床数の基準数と既存数はどのように変化しているか</p> <p>イ 病床数は医療スタッフの確保と密接な関係がある。奨学金制度の拡充を含めた養成策は</p> <p>ウ 分院を含めた病床数の将来見通しは</p> <p>(5) 医師会との連携強化</p> <p>ア 夜間急患センター (初期) は新たな「古川方式」の中心を担うことになり, 医師会とのより強固な連携が求められることになると思われるが, 現状と課題は</p>
3	5	佐藤弘樹	<p>1 市民協働について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	11	横山悦子	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域自治組織の方向性と課題への考え</li> <li>(2) 政策アドバイザー設置効果と職員育成</li> <li>(3) 食生活改善推進事業の役割と連携状況</li> <li>2 市民病院について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新市民病院開院後の受け入れ体制と課題</li> <li>(2) 院内保育所の環境整備</li> <li>(3) 鹿島台分院への医師派遣と診療体制</li> </ul> </li> <li>3 職員体制について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 残業時間の偏在による勤務時間のあり方</li> <li>(2) ブラック企業化してはいないか</li> </ul> </li> <li>4 地域課題について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各地区集会所等の着実な設備改修計画</li> <li>(2) 鹿島台武道館の屋根修繕</li> <li>(3) 鹿島台中央野球場(サンスタジアム)への捕球ネット設置</li> <li>(4) 楽天野球団フィールドサポート・プログラムの取り組み</li> </ul> </li> <li>1 防災対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 広島土砂災害を教訓として、本市の土石流の危険性について</li> <li>(2) 本市の土石流危険溪流の現状と整備率について</li> <li>(3) 災害弱者を守る態勢整備は万全か</li> <li>(4) 名簿, 避難勧告基準づくりについて</li> </ul> </li> <li>2 子育て支援について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育所のゼロ歳児の待機児童と解消に向けての拡大のための整備について</li> <li>(2) 5歳児健診について</li> <li>(3) 放課後児童クラブについて</li> </ul> </li> <li>3 危険ドラッグの青少年対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市の違法薬物事犯の推移について</li> <li>(2) 関係機関との連携について</li> <li>(3) 学校現場において、徹底して薬物の恐ろしさ、その犯罪性を教育することについて</li> </ul> </li> <li>4 土曜日の教育活動について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成26年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の小学6年生と中学3年生の結果について伺う</li> <li>(2) 学校において子供たちに土曜日における充実した学習機会を提供する方策についての本市の考えを伺う</li> </ul> </li> <li>5 古川駅南駐輪場の管理について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 駐輪場の管理と監視カメラの設置について</li> </ul> </li> </ul>
5	20	山村康治	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 大崎市文化財の保護, 活用について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 発掘調査により, 数多くの遺物が出土しているが, それらの保護, 活用についての現状と今後の方針, ビジョンを伺う</li> <li>(2) 遊休資産活用の観点から, 田尻の萬嶺閣を展示公開施設として活用すべきと思うが, 考えを伺う。また, 各総合支所の遊休施設も同様に利用すべきと思うが, 考えを伺う</li> </ul> </li> </ul>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
6	7	相澤久義	<p>(3) 文化財への関心を深めるため、学校や企業等へ資料（出土文化財）を貸し出し、展示する仕組みを考えてはどうか</p> <p>1 支援学級の進路相談体制は大丈夫か</p> <p>(1) 進路相談体制と現況</p> <p>(2) 中学校卒業に当たっての進路指導の現況</p> <p>(3) 5歳児発達相談等（生活状況調査、保育園、幼稚園等での集団生活観察等）実施の考え</p> <p>2 地域外交通体系について</p> <p>(1) 地域内交通体系が進んでいるが、地域外交通、路線バス古川－大衡間を大和町までの延伸の考え方</p> <p>(2) 高校生の通学を主とした鹿島台－加美町間の路線バスの考え方</p>
7	22	木内知子	<p>1 市民要望に応える公共交通体系づくりについて</p> <p>(1) 地域内交通についてのアンケート結果を踏まえた今後の対応策について</p> <p>(2) 幹線道路の運行ルート等、抜本的見直しの対策を講ずる必要性について</p> <p>2 「障害者総合支援法」による新体系への対応について</p> <p>(1) 障害福祉サービス事業所（あしたの広場、ふれあい広場、ひだまり作業所）の事業体系移行についてどのように考えるのか</p> <p>ア 3施設の「地域活動支援センター」への移行に伴う設置場所の一元化について</p> <p>イ 運営体に対する継続的支援について</p> <p>3 再生可能エネルギー事業への地熱発電導入を進めることについて</p> <p>(1) 本市に賦存する地熱資源の有効活用を促進させるための計画について、大分県別府市の湯けむり発電を参考にしているかがか</p>
8	13	遊佐辰雄	<p>1 観光政策を充実、発展させるための施策について</p> <p>(1) 観光交流課を玉造に配置し、岩出山・鳴子温泉郷を重点とした観光政策の充実を図っていくべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 入湯税をもっと効果的に活用すべきではないか</p> <p>(3) 源泉の維持管理に積極的な支援をすべきではないか</p> <p>(4) 伝統産業の継承、発展にもっと力を注ぐべきではないか</p> <p>(5) 指定廃棄物の最終処分場候補地3カ所全てに反対すべきではないか</p> <p>2 自然災害から市民の生命財産を守るための緊急対策と整備計画について</p> <p>(1) 土砂災害警戒区域等指定箇所の現状とその対策はどうなっているのか</p> <p>(2) 危険箇所の緊急及び応急措置と整備計画はどうなっているのか</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
9	12	関 武徳	<p>(3) 県機関等への要請についてはどうなっているのか</p> <p>1 本院移転後の千手寺及び周辺エリアの活性対策について</p> <p>(1) 本院移転の影響調査と活性施策策定の考え方</p> <p>(2) 本院移転跡地・施設活用策の進捗と実行について</p> <p>(3) 千手寺・諏訪及び周辺地区の活性化への具体的取り組みについて</p> <p>(4) 公有地の活用策と地域振興対策</p> <p>2 道路行政の充実策について</p> <p>(1) 交通量変化に伴う道路整備のあり方</p> <p>(2) 県道, 市道, 生活道整備の取り組みについて</p>
10	6	中鉢和二郎	<p>1 広島土砂災害から何を学んだか</p> <p>(1) 8月20日未明に広島県広島市で発生した豪雨による大規模な土砂災害では、これまでに72人の死亡が確認され、一度の集中豪雨による土砂災害の犠牲者としては平成に入ってから最多となってしまった。</p> <p>広島県や広島市に対してはさまざまな批判が上がっている。なぜこのような甚大な被害を招いてしまったのか、他山の石とせず、しっかりと分析、検証する必要があると考える。</p> <p>今回の災害から大崎市として何を学び、どのように生かしていくのか、伺う</p> <p>2 「ゆきむすび」を熊の食害から守る方策について</p> <p>(1) 間もなく実りの秋を迎えるが、ここ数年ツキノワグマの食害が多く報告されている。</p> <p>今年は出没頻度も多く、鳴子地域では8頭以上捕獲されているが、食害がおさまる様子はなく、一層の有害鳥獣捕獲が必要と思われる。</p> <p>特に、鳴子の米プロジェクトで名をはせた「ゆきむすび」がツキノワグマのターゲットになっており、多くの被害情報が寄せられているが、9月1日時点で鬼首地区における有害鳥獣捕獲許可数は1頭にとどまっており、早急な対策が求められる。</p> <p>しかし、狩猟免許を持つ猟友会のメンバーの人数に限りがあり、捕獲のための罠3台での対応が精いっぱい状況で、有効な対策を打てていないのが実態である。</p> <p>今年の収穫を守るために取り得る方策と、来年以降の有害鳥獣対策として、今年反省を踏まえ何ができるのか、伺う</p> <p>3 学校における「いじめの防止」、「早期発見」、「いじめに対する措置」について</p> <p>(1) 平成25年6月28日に、「いじめ防止対策推進法」が公布され、3カ月後の9月28日に施行された。この法律に基づき、本市としてなすべきことと、市立学校においてなすべきことを伺う。さらに、法が求める事項へ対処済みのものはその状況と、未対処のものについてはいつ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			までにどのように対処するのか、伺う
11	10	加藤善市	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 志田橋完成後の敷玉・伊場野地区の振興策について</li> <li>2 少子化対策としての婚活（市主催）について</li> <li>3 大崎市域の経済の冷え込みを感じるが、市長の考えは</li> </ol>
12	15	相澤孝弘	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 6次産業化推進について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大崎市内の6次産業化の現状と課題はどのようなものか</li> <li>(2) 機能別戦略及び各生産物における6次産業化について</li> </ol> </li> <li>2 安全・安心なまちづくりの取り組みについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 記録的、観測史上、予想外の豪雨災害への被害予測と対策は</li> <li>(2) 青少年の問題行動や防犯への取り組みについて</li> <li>(3) 観測用や防犯対策用等の定点カメラ等の必要性和設置状況は</li> </ol> </li> <li>3 子育て支援の現状と課題解消への取り組みについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 待機者の解消はなぜ図れないのか</li> <li>(2) 資格条件や優先度と担当窓口は口をそろえて言うが、家庭の事情は複数多岐にわたる。この現実をどのように調査して対応するのか</li> </ol> </li> <li>4 世界農業遺産登録と大崎市の原風景保存への取り組みについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 世界農業遺産登録へ向けた大崎市の目的は何か</li> <li>(2) 失われつつある古民家や旧家などを保存する取り組みは必要である。市内の古い家屋の実態は掌握しているのか</li> </ol> </li> </ol>
13	8	鎌内つぎ子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子育て支援策等本格的な人口減少歯どめ対策について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子育て等に係る経済的負担軽減 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 不妊治療費助成</li> <li>イ 妊産婦医療費助成（産婦人科以外の疾病も対象）</li> <li>ウ 乳児のおむつ購入費助成</li> <li>エ 認可外保育施設の子ども・子育て支援制度において小規模保育事業移行の促進について</li> </ol> </li> <li>(2) 出会いの促進 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 結婚相談センター設置</li> <li>イ 結婚活動支援事業について</li> </ol> </li> <li>(3) 定住促進について <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 新婚家庭の家賃助成</li> <li>イ 住宅取得促進助成</li> <li>ウ 子育て世帯等増改築助成</li> </ol> </li> <li>(4) 農業中心の産業振興について</li> </ol> </li> </ol>
14	3	八木吉夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 古代の里の活用策について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 古代の里周辺地区に、オリンピック強化選手や国体選手等も利用できるようなスポーツ施設を配備したスポーツ公園がハイウェイオアシス構想とも合致すると思う</li> </ol> </li> </ol>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>が、所見を伺う</p> <p>2 復興まちづくり計画について</p> <p>(1) 震災後、京都大学や東京工業大学の先生方が中心となる古川高密度地震観測研究グループが2年半の歳月をかけて調査した地震観測結果を、まちづくり計画に活かすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>3 20万都市戦略について（人口減少対策）</p> <p>(1) 少子化、人口減少対策について、子育て支援、若者定住の一環として、低額での分譲住宅建設等の考えはないのか、伺う</p> <p>4 平和希求のまち大崎市宣言について</p> <p>(1) 平和希求を宣言している大崎市として、恒久平和を創造、波及させるために、青少年への平和教育が必要と思う。青少年の社会教育の一環として、沖縄、広島、長崎への平和研修事業を実施してはどうか、伺う</p> <p>5 県庁誘致について</p> <p>(1) 均衡ある県土を目指すためにも、県庁（県庁所在地）を大崎市古川に移転誘致すべきと考えるが、所見を伺う</p>
15	17	山田和明	<p>1 市民病院のあり方について</p> <p>(1) 本院の救急医療の対応について</p> <p>(2) 看護師の充足について</p> <p>(3) 鹿島台分院の医師体制について</p> <p>(4) 分院の経営戦略について</p> <p>(5) 療養病棟、介護療養病棟の取り組みについて</p> <p>2 障害者の手助けについて</p> <p>(1) 障害者へのヘルプカードの配布について</p>
16	23	豊嶋正人	<p>1 広島の大規模土砂災害に何を学び、それをどう生かしていくか</p> <p>(1) 避難指示、避難勧告の時期など多くの問題が指摘されているが、この事故に学んだことはどのようなものか。その事項にどう対処していくべきと考えているか</p> <p>2 学童保育の条例化について</p> <p>(1) 学童保育は、来年度から新制度で動き出す。4月末には設備や運営、職員配置に関する基準が示された。市区町村には、事業計画の策定が義務づけられ、事業の基準は条例で定めることになる。学童保育の待機児童の解消策、施設の充実、職員の処遇改善などが課題だが、その対策は万全か</p> <p>3 障害者差別禁止条例の制定を</p> <p>(1) 仙台市は2016年4月に「(仮称) 障害者差別禁止条例」の施行を目指している。本市でも条例を制定すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 高齢者に「はり・きゅう・マッサージ等費用」の助成を</p> <p>(1) 船橋市、市川市、西宮市、北九州市等では高齢者に「はり・きゅう・マッサージ費用等」助成を行い、効果を上げている。本市でも助成を検討すべきと考えるが、所見</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
17	4	氷室勝好	<p>を伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 戦没者追悼と平和活動推進について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 昨今混迷する中東等の情勢により、平和への意識が高まっている中、真の平和の尊さを後世に伝えていく活動の推進方策を伺う</li> <li>(2) 来年は戦後 70 年の節目を迎えるが、本市全地域を対象とした戦没者追悼式典等の要望があるが、所見を伺う</li> </ol> </li> <li>2 体育施設の利用と大会等の後援のあり方について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会教育関係団体が施設を利用する場合、施行規則の改正要望が寄せられているが、対応について伺う</li> <li>(2) 社会教育関係団体の公益性のあるスポーツ行事等開催への後援の対応について伺う</li> </ol> </li> <li>3 稲作農業の振興について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年の主要事業として農産物のPR策を検討する「大崎の米販戦略会議」を開催されているが、その方針について伺う</li> <li>(2) 米輸出への調査に取り組む方針であるが、その経過と今後の展望を伺う</li> </ol> </li> <li>4 行政機能充実と定員適正化について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 集中改革プランにおいて財政抑制の効果がみられるが、一方、市民ニーズへの十分な対応ができる定員適正化の取り組みについて伺う</li> </ol> </li> </ol>
18	25	小沢和悦	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民から熱望されている便利な公共交通体系を、一日も早くつくることについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「人口減少社会において地域の活力を維持し、強化する」ための「地域公共交通ネットワークを確保すること」を「喫緊の課題」として取り組むスケジュールについて <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 平成 23 年 7 月に基幹病院が郊外に移転した栃木県足利市が、当初検討していたシャトルバス（駅-旧病院-新病院）をやめ、路線再編で成功している事例も参考にしているかどうか</li> <li>(2) 市民に便利な公共交通システムを構築することと、事業者の経営と雇用を守ることを対立的に考えず、「事業者と協力して構築する」立場で努力すべきではないか</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 生活困窮者自立支援法に基づく大崎市の姿勢と体制について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「自立相談支援事業」、「住宅確保給付金」を支給する事業について、困窮者ごとの支援計画を策定するなどのため総合的な相談体制を整えることを義務づけているが、どう具体化するのか <ol style="list-style-type: none"> <li>ア モデル事業を実施した滋賀県野洲市の実践を参考にしているかどうか</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3 大崎市民病院の役割等紹介、市民の疑問や要望に応える市民、患者様向け広報の発行について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 発行の必要性についての認識はあるのか。あるとすればいつから発行するのか</li> </ol> </li> </ol>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	18	後藤錦信	<p>4 地方自治体の臨時、非常勤職員の待遇改善を求める総務省「通知」に基づく大崎市の対応について</p> <p>(1) 総務省「通知」に基づく大崎市の改善内容について</p> <p>5 発注担当職員による元請業者への下請業者の「斡旋・紹介」について</p> <p>(1) 「斡旋・紹介」を禁止するのは、下請の紹介等によって“見返り”を市職員が要求したり、贈収賄が起りやすくなるから禁ずるとするのが一般的であるが、大崎市も同じ理由か</p> <p>(2) 市が下請業者の「斡旋・紹介」を禁じたのは「平成 25 年 11 月 15 日から」で、それ以前は「禁じられていなかった」というのは事実か</p> <p>6 大崎市（市民病院を含む）と市民等とのトラブルへの市の対応について</p> <p>(1) 担当者任せのため、大崎市の不誠実な対応が、市への不信を増長するようなことになっているケースの是正について</p>
20	28	大山 巖	<p>1 防災への取り組みについて</p> <p>(1) 土砂災害予防策について</p> <p>ア 新たな指定を受けた区域について</p> <p>イ ハザードマップの整備について</p> <p>ウ 市民への周知と訓練について</p> <p>2 道路整備について</p> <p>(1) 国道 457 号の岩出山地内におけるバイパス建設への取り組みについて</p> <p>3 病院事業の運営について</p> <p>(1) 新本院の利用状況等、現状と課題について（医師、看護師等確保についても含む）</p> <p>(2) 国の地域医療ビジョンと病院事業の運営について</p> <p>(3) 地域医療ビジョンを踏まえた鳴子温泉分院や回復期リハビリテーション病棟のあり方について</p>
			<p>1 公共施設への環境保全について</p> <p>(1) 財政の苦しいことは国ばかりでなく地方自治体も同様。公園や道路はボランティア活動団体に支援を</p> <p>2 人口減少対策として</p> <p>(1) 少子化対策の一環として</p> <p>ア 少子化対策として乳幼児家庭にホームヘルパーの派遣を</p> <p>(2) 乳幼児の母親に支援を</p> <p>ア 公共施設に授乳室、駐車場への優先的なスペースの確保を</p> <p>3 合併 10 周年事業について</p> <p>(1) 市の歌、市の木、市の花、市の鳥等の制定を伺う</p> <p>4 全国学力学習テストの結果を鑑みて</p> <p>(1) 朝ごはん条例の制定を</p> <p>(2) 子供の人間形成は家庭の役目</p>



発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
21	27	佐藤 勝	1 話し合う協働のまちづくり条例と行政の役割を問う (1) 条例推進と行動計画は (2) 市民との意識の共有は (3) 市の価値観を高めるための協働は (4) 意欲を持つ部下と管理職の条件は (5) 市民ファンとサポーターの拡大は (6) 市花, 市木, 市鳥と市政懇談は 2 大崎 20 万都市に向けての一提起として (1) 北原工業団地に次ぐ団地整備の方向性は (2) 人口増加対策は台東区から糸口としてはどうか (3) 鳴子向山地区の振興策はどう進んでいるか (4) 宝の都 (くに)・大崎の政策の柱は何か 3 議場での議論をどう考察しているか
22	26	大友文司	1 子ども・子育て支援新制度の取り組みについて (1) 幼児教育・保育・地域型の保育について (2) 放課後児童クラブについて ア 新制度にどのように取り組むのか 2 市民病院の人材の確保と活用について (1) 看護部門から病院副院長に登用する考えは (2) 各部門の人材確保について ア 医師部門, 看護部門, リハビリ部門, 臨床工学部門ほ か